

## 普及活動情勢報告（令和6年7月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

### 露地ショウガの生産安定に向けて ～マル朝生姜生産組合支部合同研修会の開催～



研修会の様子

6月21日、JA高知市マル朝生姜生産組合は研修会を開催し、生産者27名が参加しました。

普及所からは、腐敗防止対策試験と適正な肥培管理のためのアンケート調査の実施について説明しました。

参加者からは、「貯蔵中の腐りが少なくなったら、手取りが増えるし助かる」、「資材代高騰のため、肥料軽減が出来れば助かる」との声がありました。

普及所は今後もJAと連携し、産地の生産力向上に向けて支援に取り組んでいきます。

### 次作の栽培に向けて ～春野胡瓜部会品種説明会～



品種説明会の様子

7月2日、JA高知県春野胡瓜部会で、次作の栽培に向けた品種説明会を開催し、生産者37名が参加しました。

普及所からは、「急性萎凋症状発生の傾向分析」について説明を行い、定植時期別の発生割合の違いや、初期管理の見直しなどについて情報提供を行いました。

生産者からは、「ほ場内での発生位置に偏りはあったか」、「定植時期のかん水や耐暑方法について」などの質問があり、JA営農指導員、種苗会社担当者も交えて活発な意見交換ができました。

今後も普及所はJAと連携し、春野胡瓜部会の生産力の維持向上に向けた活動を支援していきます。

### 令和6年度の普及指導計画を共有 ～第1回高知地区農業改良普及推進協議会～



スライドを用いて説明

7月4日、高知農業改良普及所において普及推進協議会を開催し、農家委員及び関係機関、普及所職員などを含む32名が出席しました。

当日は普及所から、令和6年度の重点2課題及び一般8課題の概要を説明した後、課題などに対する意見交換を行いました。

出席した農家委員からは、キュウリ農家の所得向上、ユズ収穫での労働力確保対策、四方竹の技術支援、就農相談会への農業者の参加、SNSを活用した情報発信など、様々なご意見をいただきました。

今回の意見を普及活動に反映させ、地域農業の課題解決に向けて取り組んでいきます。

今年の気象とトマトの生育の関係は？  
～ J A 高知市一宮支所園芸部トマト部会研修会～



研修会の様子

7月11日、J A高知市一宮支所園芸部トマト部会がJ A高知市一宮支所で研修会を開催し、生産者14名が参加しました。

普及所は、令和6園芸年度の県内トマト産地の気象や生育概況と、4月に県内で発生が報告されたトマト黄化病について説明しました。

参加者からは「今作は厳しい気象条件だった。生育に影響があったと思う」といった声が聞かれました。参加者それぞれが今作の時期ごとの状況を振り返り、気象に応じた栽培管理について話し合い、理解を深めました。

普及所は、今後も県内の農作物の栽培状況の把握に努め、栽培管理に役立つ情報を発信します。